



# ITU-R SG5及びWP5A、5B、5C会合結果

総務省 新世代移動通信システム推進室 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室

## 1. はじめに

ITU-R SG5（地上業務）傘下の作業部会（WP）であるWP5A、5B及び5C会合が、2025年11月17日から28日にかけて、また、SG5会合が2025年12月1日から2日にかけて、それぞれスイス・ジュネーブにて開催された（Webでの参加も可）。

ITU-R SG5は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌しており、議長はKyuJin Wee氏（韓国）が務めている。作業部会（WP）の構成を表1に示す。

以下では、今般開催された各会合の主要議題と主な結果について報告する。

## 2. WP5A 第34回会合

### 2.1 概要

WP5Aは、IMTを除く陸上移動業務、固定無線アクセス（FWA：Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。審議の体制を表2に示す。第34回会合には49の加盟国、6のROA、17のSIO等から延

べ290名が参加した。日本からは19名が参加した。日本寄書3件を含む73件の入力文書を扱い、審議の結果、35件のTEMP文書を出力した。

### 2.2 主要議題及び主な結果

#### 2.2.1 高度道路交通システム（ITS）

「将来のITS」とのテーマの下、その機能や今後の進化、無線通信の活用等に関するITU-R新報告を作成している。今回会合にて、日本から、V2X通信を介して提供される情報が自転車等と自動車の衝突事故を減少または回避する行動変容を促す効果があることを示す文章の追記を提案した。また、韓国の提案に基づき新報告の全体像を表す導入的文章（将来のITSは、事故ゼロ・効率的な交通を目指し、V2X通信やAI、自動運転車などの先進技術を統合して進化し、最終的に、車両・インフラ・利用者・ネットワークがシームレスに協調し、安全・効率的・快適なモビリティを提供するといった内容）が追加された。同時に提案された概念図については次回会合で更に検討することとなった。

■表1. SG5の構成

WP	所掌	議長（敬称略）
WP5A	30 MHz以上の陸上移動業務（IMTを除く）；固定業務における無線アクセスシステム；アマチュア及びアマチュア無線業務	Amy Sanders（米国）
WP5B	海上における遭難及び安全の世界的制度（GMDSS）を含む海上移動業務；航空移動業務及び無線測位業務	Gregory Baker（米国）
WP5C	固定無線システム；固定及び陸上移動業務における30MHz未満のHFシステム	El Hadjar Abdouramane（カメルーン）
WP5D	IMTシステム	新 博行（日本）

■表2. WP5Aの審議体制

	担務内容	議長（敬称略）
WP5A	Land mobile service excluding IMT ; amateur and amateur-satellite service	Amy Sanders（米国）
WG1	Wireless access systems	Michael Kraemer（Intel）
WG2	Industry applications	Gabrielle Owen（オランダ）
DG-PMSE	Programme Making and Special Events	Wolfgang Bilz（ドイツ）
WG3	Transportation industry applications	吉野 仁（日本）
DG-ITS	Intelligent transport system	Jeffrey Bellone（米国）
WG4	Other land mobile systems	Baozhen Lang（中国）
WG5	Amateur and amateur-satellite systems	Dale Hughes（オーストラリア）

## 2.2.2 テラヘルツ (275GHz以上)

ITU-R報告M.2417-1「周波数範囲275-450GHzにおける陸上移動通信システムの技術的・運用的特性」の改訂については、日本からの寄書に基づき、技術運用特性の送信出力密度 (dBm/GHz) 及び等価等方輻射電力密度 (dBm/GHz) のパラメータの補足説明のための脚注追加が合意された。一方、CPMSデバイスのアンテナ仰角をCPMS固定デバイスの天頂角度範囲及びCPMS移動デバイスの天底角度範囲に2分割する変更提案に対しては、ITU-R報告M.2227-2でも議論されている利用シーン例も考慮した検討結果を本文NOTEに追加して元のアンテナ仰角に戻すための議論を行ったが、米国から、CPMSの一例によるパラメータの変更は適当でなく、かつ±90度はCPMS固定・移動デバイスのすべての利用シーンを包含している特性として含めることは適切ではないとの意見により、削除が合意された。Annex 1のテキスト変更及び追加も、一部削除して合意された。次回会合でも引き続き議論される予定である。

## 2.2.3 アマチュア及びアマチュア衛星業務ハンドブックの改訂

前回会合からのキャリーフォワード文書及びカナダ、中国並びにEURAOからの寄与文書をもとに、アマチュア及びアマチュア衛星業務ハンドブックの改訂作業を継続し、完成させてWP5Aに上程、承認された。

## 3. WP5B 第35回会合

### 3.1 概要

WP5Bは、無線測位業務、海上移動業務及び航空移動業務を扱っている。審議の体制を表3に示す。35回会合には、63の主管庁、11のROA、16のSIO、3つの国連専門機関(ICA0、IMO、WMO)、その他の機関及びITU無線通信局等から計382名が参加した。日本からは25名が参加した。

### 3.2 主要議題及び主な結果

#### 3.2.1 WRC-27議題1.8関連

231.5-700GHz帯における無線測位業務への分配/特定

に必要な共用・両立検討のための周波数帯及び技術特性に関する新報告草案向け作業文書について、前回会合で作成していた議長報告に対し、ドイツの携帯/固定及び車載レーダーの新シナリオやセンサの機能説明、パラメータの追記・修正、日本のセキュリティレーダーのユースケースの追記、中国からの新提案の非破壊検査の技術・運用特性の組み込みが行われた。これに応じて被干渉側の米国、フランスそれぞれによるEESSとの共用検討、ロシアによる移動業務・固定業務との共用検討の追記・修正が行われた。さらに、各国提案の語句の統一化や表の整理が行われ、ITU-R新報告草案に向けた作業文書(5B/TEMP/149)を作成した。

CPMテキスト案については、上記作業文書のサマ리를反映させ、また議題1.8を満たすためのMethodの方向性について合意した。

252-275GHz及び275-700GHz帯における無線測位業務システム及び関連アプリケーションの技術及び運用特性に関する新報告草案向け作業文書の作成を開始した。

#### 3.2.2 HF帯航空移動(OR)業務関連(WRC-27議題1.9含む)

WRC-27議題1.9に関して、ITU-R新報告草案M.[Modernization of HF AM(OR)S]に関する作業文書については、新HFシステムの定義、ALEの扱い、保護基準(I/N long-term)の明確化、伝搬モデルの具体化等を巡り議論が行われ、意見を踏まえた修正の上で議長報告に添付され、次回会合へ持ち越された。

また、CPM文書の作成が本会合から開始された。基本的に作業文書において検討されている内容がベースとなっているが、RRの修正を行わないNOCを記載したMethod Aと新しいHF帯システムの導入をRR上で規定するMethod Bが整理された。フランス提案により一部未確認事項はスクエアブラケット扱いとした上で、CPM文書は議長報告に添付され、次回会合へ持ち越された。

表3. WP5Bの審議体制

WP/WG	検討案件	議長(敬称略)
WP5B	無線測位業務、航空移動業務及び海上移動業務	G. Baker(米国)
WG5B-1	無線測位業務関係(WRC-27議題1.8、各種レーダー等)	A. Kormed(エジプト)
WG5B-2	航空移動業務関係(WRC-27議題1.9含む)	G. Novella(フランス)
WG5B-3	海上移動業務関係	F. Liu(中国)



## 4. WP5C 第33回会合

### 4.1 概要

WP5Cは固定無線システム並びに30MHz以下の固定及び陸上移動業務のシステムに関する技術的検討を行っている。審議の体制を表4に示す。第33回会合には、53か国、29機関から約250名が参加し、日本からは7名が参加した。今回合合では日本からの寄与文書4件を含む64件の入力文書（前回合合から持ち越された入力文書を除く）について審議が行われ、29件の出力文書が作成された。

■表4. WP5Cの審議体制

グループ	担務内容	議長（敬称略）
WP5C Plenary		El Hadjar Abdouramane (カメルーン)
WG5C-1	周波数及び技術的事項	大槻信也（日本）
WG5C-2	共用・両立性とWRC議題	N. Ali（英国）
WG5C-3	全般的な課題とHF	H. Mazar（ATDI）

### 4.2 主要議題及び主な結果

#### 4.2.1 450–1000GHz帯で運用する固定業務アプリケーションの技術・運用特性 (ITU-R新報告F. [FS.CHAR. 450–700GHz] 関連)

日本提案に基づき内容の更新を行うとともに、対象上限周波数を1000GHzから700GHzに変更することが合意された。

#### 4.2.2 275–450GHzで運用されるP-P固定業務アプリケーションの技術運用特性

ITU-R報告 F.2416-1の改訂について文書ステータスを作成文書から報告改訂草案に格上げすることが合意された。

#### 4.2.3 92–95GHzで運用される固定業務システムの無線周波数チャンネル配列

ITU-R勧告 F.2004の削除について次回合合において継続議論とすることが合意された。

#### 4.2.4 固定業務システムの無線周波数配列

日本提案に基づき、ITU-R勧告 F.724-11の改訂について作業を開始することが合意された。併せて勧告本文の全体的な見直しが必要であることが指摘された。

#### 4.2.5 ITU-R報告F.2323-2改訂関連審議

最近のITU-Rでの研究の進捗に合わせて内容の更新を

行うとともに、固定業務用周波数におけるIMT技術の利用と混同しそうな部分について修正を行い、文書ステータスを作成文書から報告改訂草案に格上げすることが合意された。ただし報告改訂草案への格上げについて次回は行わない旨を議長報告に記載することとなった。

#### 4.2.6 WRC-27議題1.10関連審議

共用検討に関する作業文書は、今回合合までに提出されたすべての寄与文書を統合して更新されたが、各寄与文書の具体的な審議は行われず、使用する前提条件等の共通化に向けた論点の整理の議論が進められ、合意された内容が作業文書に追記された。今後実施される共用検討の結果には選択された前提条件やその理由などを明記することが求められる。また、CPMテキスト案に関する寄与文書に基づき骨組みとなる文書が作成されたが、共用検討の結論は暫定であり、Methodについても記載はされなかった。CPMテキスト案は次回完成させる必要がある。

## 5. SG5第23回会合

2025年12月1日から2日にかけて開催された第23回会合には、49か国の主管庁及び関連機関から299名が参加した。日本代表団としては、総務省、通信事業者、メーカ、研究機関等から32名が出席した。

本会合では、計74件の入力文書が審議された。勧告案については21件が本会合に提出され、4週間以上前に提出された10件は本SG会合で採択され郵便投票に付され、8件はPSAA（同時採択・承認手続）に付された。通常の郵便による採択手続をとることで合意した3件については、郵便による採択手続の後、郵便投票による承認手続に付されることとなった。また、研究課題改訂案1件が採択されるとともに、報告案7件が承認された。

■表5. 今会合での採択等又は承認の状況

	採択等された勧告		採択された研究課題案		承認された報告案	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂
WP5A	1	4	0	1	1	0
WP5B	1	5	0	0	1	0
WP5C	2	3	0	0	1	0
WP5D	2	3	0	0	3	1
合計	6	15	0	0	6	1
	21		1		7	



## 6. 今後の予定

今後のSG5関連会合の開催日程は以下のとおりである。

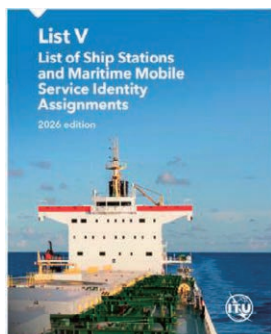
会合	日程	場所 (予定)
WP5D	2026年2月3日から12日	(ジュネーブ)
WP5A	2026年5月18日から26日	
WP5C	2026年5月18日から29日	
WP5B	2026年5月19日から28日	
WP5D	2026年5月27日から6月5日	
WP5D	2026年9月28日から10月8日 (暫定)	
WP5A/5B/5C	2026年11月16日から27日	
SG5	2026年11月30日から12月1日	

## 7. おわりに

各WPにおいて、2027年にWRC-27を控え、WRC-27議題の検討が本格化するとともに、ITU-R勧告案・報告案の検討が活発に行われた。また、SG5では、それら多数の勧告案・報告案の採択・承認が行われた。

今回の会合においても、日本から積極的に議論に貢献できたことは、長時間・長期間にわたる議論に参加された日本代表团各位、会合前の寄書作成や検討に貢献された関係各位のご尽力のたまものである。この場を借りて感謝するとともに、引き続きのご協力をお願いできれば幸いである。

### 国際航海を行う船舶局に必須の書類 好評発売中！



**-New!-**  
船舶局局名録  
2026年版



海上移動業務及び  
海上移動衛星業務で使用する便覧  
2024年版



海岸局局名録  
2025年版

お問い合わせ: [hanbaitosho@ituaj.jp](mailto:hanbaitosho@ituaj.jp)

